

令和8年4月1日

令和8年度学校経営計画

大田区立大森第四中学校

校長 小松 香織

I 本校の教育目標

人権尊重の精神を基調として、広い視野をもって未来を主体的に生き抜く資質を養うため、次の目標を掲げ、全教職員で教育実践に取り組む。

恵まれた環境を生かして「自主的で、品の良い、健康的な、努力を惜しまない生徒」を育てる。

II 学校経営の重点

- 1 安心・安全で信頼される学校づくり
いじめの未然防止と早期対応
生徒の心理的安全性の確保
保護者・地域との信頼関係の構築
- 2 確かな学力の育成
「わかる」から「できる」授業への改善
「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実
ICTの効果的な活用
- 3 チーム学校の推進
教職員の協働と組織的な対応
専門職として学び続ける教員
「教職員全員で全校生徒を見る（気に掛ける）」体制づくり

III めざす学校像

- 1 笑顔が絶えない、あたたかい学校
- 2 秩序があり、安全・安心を大事にする学校
- 3 地域とともに子どもたちを育てていく学校

IV 育てる生徒像

- 1 思考力・判断力・表現力、知識・技能をバランスよく身につけている
- 2 学ぶ意欲にあふれ、自ら課題を見つけ、進んで学習する
- 3 夢やあこがれをもち、自ら高い「志」をもって何事にも積極的に挑戦する
- 4 困難なことにくじけず、何事にも根気強く最後までやり遂げる
- 5 人とのかかわりを大切にし、進んで良好なコミュニケーションを図りより良い人間関係を築ける（あいさつ、礼儀、言葉かけ、笑顔、上質な笑い）
- 6 尊敬の念、思いやりの心を忘れず、人にやさしくでき、自分と考えが違う人とも理解し合い協働できる
- 7 社会を生きていく上で人として大切な素直な心、感謝の心、反省の心をもち、それを

表現できる

- 8 規範意識をもって、社会のルールが守れる
- 9 自分の住む町を愛し、地域の行事に進んで参加したり、地域に積極的に貢献したりする
- 10 自分の健康を自分で管理し、基礎的な体力を身につけ、それを伸ばし、自分の体を大切に心身ともに健康である
- 11 「仲間」の喜びを自分の喜びとして感じられ、「仲間」の努力を認め自分も努力し、「仲間」と協力し自分らしさを発揮することができる

V 今年度の重点

- *教育課程届に示す教育活動について、以下の基本方針を踏まえ厳正に実施し、教育目標を達成する。
- *「コミュニティ・スクール」として、地域、保護者の連携を深め質の高い教育活動を展開していく。
 - 1 「自主的で、品の良い、健康的な、努力を惜しまない生徒」を育てるための諸課題を解決していく。
 - 2 いじめ問題・不登校問題等生徒問題の未然防止及び当該問題への迅速かつ確実な対応をする。
 - 3 各学級、サポートルームをはじめとした特別支援教育、教育活動の各場面での食育の充実を図る。
 - 4 特別活動の要素である「人間関係形成」、「社会参画」、「自己実現」（キャリア教育）及び自分の考えを構築し、話し合い、考えを深める活動を教育活動全般で意識して指導に当たる。

VI 基本方針

- *「おおた教育ビジョン」の理念「笑顔とあたたかさあふれる未来を創り出す力を育てます」に基づき、学習指導要領の趣旨の実現を図る。人権尊重を基盤に、「認知能力・非認知能力」の育成を含み、「教え込まれて生まれる感動ではなく、主体的にかかわる中で生まれる」ことを「学校には、感動がある」というキーワードで意識していく。また「いじめは許さない」「相談しようよ」をキーワードとし、生徒・保護者や地域の信頼に応えていく。また、コミュニティ・スクール（地域とともにある学校）として、SDGsを意識した教育活動を展開する。
- *各教科等の学習活動で身に付けた力を生きて働く力とするために、その実の場である特別活動との往還を意識して展開していく。
 - 1 持続可能な社会を創り出すグローバル人材の育成
 - (1) 課題を解決する力、新たな価値観を創造する力、主体的に考え、行動し、協働していく力、情報活用能力を育成し、予測困難な未来社会を創造的に生きる力を身に付けさせる。そのために、全教育活動の中で生徒に「思考」を促す。「自主的」から「主体的」へ、「参加」から「参画」への生徒指導、生徒意識の転換を図る。同時に、3つの「聞く力」（聞く・聴く・訊く）を育成し「思考・判断・表現」力の向上を図

る。令和11年度からの中学校版「おおたの未来づくり」の全校実施に向け、STEAM教育等の教科等横断的な学びの推進を行い、創造的な資質・能力の育成に向けた、教科「おおたの未来づくり」の充実をめざす。

- (2) 英語力の向上とコミュニケーション能力、郷土の伝統・文化の尊重と、異なる文化の・価値を理解し共に生きる態度、持続可能な社会（SDGs）を形成していく態度を育て、世界とつながる国際都市おおたを担う人材を育てる。
- (3) 道徳教育をはじめとした豊かな心の育成、指導工夫改善による誰一人取り残さない確かな学力を身に付けさせるとともに健やかな体づくりを実践し、一人ひとりが個性と能力を発揮するための基礎となる力を育成する。
- (4) 授業の振り返り、諸調査の結果を活用し生徒一人一人の学ぶ意欲を高め、確かな学力を定着させる。ICTの効果的な活用、MI理論の考え方の活用、家庭との連携等により、個別最適化・協働学習を進めていく。OJT、校内研修をはじめ、外部の研修機会を活用し教職員の指導力向上を図る。

2 誰一人取り残さず、こどもの可能性を最大限に引き出す

- (1) 教師の授業力の向上、学校の組織的な運営力、学校における働き方改革による教育職の魅力を向上させ、学校力・教師力の向上を図る。
- (2) サポートルーム及び外部機関との連携を進め、特別支援教育を充実させる。また、いじめ対応、不登校の未然防止及び支援の徹底、相談・支援機能の充実を図り、自分らしくいきいきと生きるための学びを支援する。
- (3) 魅力ある学校施設、可能性を引き出す学習環境、安全・安心の確保を充実させ、柔軟で創造的な学習空間と安全・安心な教育環境を整える。
- (4) 一人一人の生徒の状況に応じて適切な支援を行うため、関係機関との連携により環境整備を行う。安全・安心に学校生活を送るために、教員の指導力向上と働き方改革を含め良質な教育環境を作る。教師の指導力の向上、学校の組織的な運営力、学校における働き方改革による教育職の魅力を向上させ、学校力・教師力の向上を図る。
- (5) 魅力ある学校施設、可能性を引き出す教育環境、安全・安心の確保を充実させ、柔軟で創造的な学習空間と安全・安心な教育環境を整える。
- (6) 人権尊重の態度を養い、規範意識を高め、相互に認め合いながら行動できる態度や能力を育成することに重点をおきながら推進する。テーマ「未来を幸せに生きる」に関連付けた総合的な学習に取り組むとともに、スポーツに親しむ心の育成や、運動習慣の定着による体力の向上、食育の推進など、生涯にわたって健康増進を図る意識の向上を目指すとともに食育の一層の推進を図る。

3 すべての区民が未来を担うこどもを育て、ともに学び続ける

- (1) 学校・家庭・地域が連携してこどもを育てるコミュニティ・スクールを充実させ、地域コミュニティの核となる学校をめざす。
- (2) 図書室の充実、多様な学習機会の情報提供などにより、生涯学び続ける環境をつくる。
- (3) ユネスコスクールとしての使命を再確認し、SDGsの達成の視点を取り入れた学習を取り入れる。